



会長 小井田和哉 青少年奉仕 石橋 信雄
副会長 村井 達 幹事 深澤 隆
クラブ奉仕 小林 幹夫 会計 渡辺 孝
会長エレクト 佐々木泰宏 会場監督 接待 一雄
職業奉仕 橋本八右衛門 直前会長 道尻 誠助
社会奉仕 妻神 和憲 副幹事 正部家光彦
国際奉仕 妻神 和憲 会計補佐 紺野 広

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 菊地 幹 同副委員長 峯 正一
同委員 村館 珠樹 同委員 奈良 全洋

国際ロータリーのテーマ — 2021~22 — 八戸ロータリークラブのテーマ

奉仕をしよう みんなの人生を豊かにするために

今できる親睦と奉仕を!

国際ロータリー会長 シェカール・メータ

八戸ロータリークラブ会長 小井田 和 哉

7月 は 新 会 員 の た め の 月 間 で す

第3194回例会 2021.7.7

会 長 要 件 小井田和哉 会長



先ほどの初点鐘に続き、初会長要件で変な汗をかいています。きょうから1年間、皆さんどうぞよろしくお願いたします。

今日は7月7日、ちょうど七夕の日です。7月7日は旧暦で今の暦では8月14日がその日にあたる。ちょうどその頃が天の川がきれに見える時期なのかなと思います。

七夕というと織姫と彦星のストーリーを良く聞かれると思いますが、疑問に思ったのがなぜ年に七夕の日1日しか会えないのか。昔聞いたような気がします、どういう話だったかと思い調べてみました。

よく伝えられている話としては、織姫は神様の娘で機を織って神様の服を作っている女性だった。彦星は牛の世話をしている若者。二人とも働き者でしっかりしていて、そろそろ結婚してもいいんじゃないかという年になったので、神様が二人を引き合わせて結婚した。結婚したら二人で遊ぶようになったのですが、遊んでばかりで全然仕事をしなく

なってしまった。神様が怒ってしまって二人を天の川の兩岸に引き離してしまった。悲しんだ二人が泣いて暮らしているうちに、神様がそんなに悲しいのならちゃんと仕事をすれば年に1回だけ会わせてやるということで、二人が一生懸命仕事をして、七夕の日に二人はその日だけ会うことを許された。ということが伝えられている七夕のストーリーです。

この七夕に短冊に願い事を書いてというのは、元々中国では7月7日に乞巧奠きっこうでんという宮中行事があって、そこで女性が織姫星に手芸や裁縫、機織りの上達を願ってお願いをしていた。日本では7月7日に別の行事があってもともと神事に使う高貴な布を織る行為を“七夕”と呼んでいて、これが7月7日に行われていた機たなばたと七夕が一緒になって七夕と呼ばれるようになった。ラブストーリーの話かと思ったら、神様の戒め的なことで、そういうことだったのか、すっかり忘れていた七夕の話でした。

昨年度中の話ですが、われわれの仲間であった松橋道治さんが6月末で退会されました。前年度会長からお伝えする話でしたが、最終例会のときに話が出ませんでしたので、

代わりにお伝えします。

表彰：

ロータリー財団PFH② 佐々木泰宏さん

入会式：^{ますだ さとし}増田 敏さん

太平ビルサービス(株)八戸支店長

推薦者からの紹介：橋本昭一さん

八戸ロータリークラブに入会することになりました増田敏さんをご紹介します。増田さんは太平ビルサービス株式会社の八戸支店長です。この業界では有名な方です。人脈も広いし、世話好きだし、とにかく目立つ方です。素晴らしい方を紹介できてわたしも喜んでいきます。増田さんが入会したことで八戸ロータリークラブも明るくなり、たくさん入会者が増えるのではないかと期待しています。

新会員挨拶：増田 敏さん



伝統と歴史のある八戸ロータリークラブに入会できてまことに光栄に思います。わたしは八戸に赴任して8年目ですが、以来橋本さんとは長い

付き合いをさせていただいています。今コロナで夜は出られません、夜のほうだけは頑張っていました。八戸に赴任して以来、八戸が大好きになりました。この地域はゴルフも盛んで、以前も本格的にゴルフはしていましたがいまだに100は切れない状況です。機会がありましたら皆さんとプレーしたいと思います。皆さんのご指導をいただきながら奉仕の精神を深めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 深澤 隆 幹事



一年間皆様の協力を得ながらクラブ運営を会長と共に進めて参りたいと思っております。いかにせん若輩者ですので、去年の紺野幹事ほどうまくでき

るかどうかいささかの不安がありますが、いろんなご助言をいただきながら進めて参りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○地区事務所より、「2021-22年度地区要覧」が届いております。メールボックスにお入れしております。時間があるときにお読み下さい。

○地区事務所より、「地区資金免除申請願」が届いております。

準備理事会で検討させていただきましたが、今年度の成田地区ガバナーから新型コロナウイルス感染症に伴い皆様方の事業等で影響を受けている事業があるということから、地区としては申請書が届くと年間いくらかの資金免除を半期ごとに減免のお知らせが届いていましたが、今年度の役員などで検討した結果、当クラブにはそのような方はいらっしゃらないだろうということで特に申請は行わないという方針にはしました。でも実際にわたし共が気付いておらずご苦労されていることがありましたら、その際はわたし共にお申し出ください。手続き等についてはその際にご説明させていただきます。

○三戸ロータリークラブ様より、「例会の曜日変更のお知らせ」が届いております。

木曜日から水曜日に変更

○ロータリーレートのお知らせ

7月1日より、1ドル=111円

○レターボックスに会費納入の封筒があります。できる限り早く納入いただければと思います。

○これまでは連続出席ということで、他クラブにメーキャップしたりで連続出席されている方がたくさんいらっしゃいましたが、いかんせん他クラブが当クラブほど例会を開いていないのでメーキャップがなかなか難しいという事情があります。今後オリンピック、パラリンピックがあり感染の傾向もつかめないということもあります。

まず7月から9月までの3か月間は全員出席扱いということで決定しました。

10月以降はだいたい3か月ごとに例会の在り方、全員出席かどうかに関して検討したう

えで皆様にお知らせします。さらに出席される方に関しては今まで通りマスク着用と受付での体温測定と消毒、例会日の10日前までに東北地方以外の場所に出張された方、行かれた方などは例会の出席を見合わせていただくようお願いしています。

別途メールなどで連絡があったかと思いますが、オンライン出席も今年度も続けて参ります。準備の都合上、オンライン出席を希望される方はできれば前月にFAXなどでお知らせいただくことも可能ですし、急にオンライン参加になるご希望がありましたら前日の夕方5時まで事務局にお知らせください。それ以外のオンライン例会の出席の仕方については、これも皆さま方にお知らせ文書が伝わっていると思いますが、もしわからないことがありましたら委員会、特に奈良全洋さんに聞いていただければ何でも教えていただけるということでしたので、お願いいたします。○今年度のスケジュールと委員会名簿もレターボックスに入れさせていただきました。

ご自身の委員会をご確認いただいて、各委員会の活動をお願いします。

○例会に関して、例年8月に納涼例会を開催していましたが、去年は延期してお月見例会という形で開催しましたが、いかんせん感染状況がまだ見えません。8月納涼例会に関してはやらない方向です。今年度それに代わるものをやるかどうかは今後役員等で検討しお知らせさせていただきます。

委員会報告

親睦会場委員会 夏川戸 齊委員長

○ニコニコボックスの報告

・誕生祝 小井田和哉・石橋信雄

妻神和憲さん

・奥様誕生祝 岡崎孝文・鶴飼寿栄

村井 達さん

・結婚記念日 広瀬知明さん

妻神和憲・小林幹夫・道尻誠助 } 一年間頑
橋本八右衛門・渡辺 孝 } 張って下さ
夏堀礼二・夏川戸 齊さん } い

築館智大さん 今年度もよろしく。

広瀬知明さん ロータリーの友委員会

村井 達さん 新副会長・クラブ奉仕委員長

増田 敏さん 新入会員です。宜しくお願い致します。

今 彰夫さん 増田先輩、入会おめでとうございませぬ!!

妻神和憲・川村幸雄・廣岡徹也 }
植草 務・赤澤栄治・熊谷清一 } ニコニコデー
山田慶次 }

会長方針 小井田和哉 会長

わたしの今年度の会長方針を発表させていただきます。「今できる親睦と奉仕を」とさせていただきます。国内での新型コロナウイルスの感染拡大が騒がれ始めてから1年以上が経過しました。緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が講じられておりますが、終息には至らず、第二波、第三波さらには変異型ウイルスの感染拡大と衰えを知りません。ワクチン接種も始まったばかりで先が見通せない状況です。

感染状況やワクチン接種の広がり等を見極め、その都度できる、できないを判断し、やると決めたら全力で、かつ安全に実施したいと思っております。八戸ロータリークラブ内でクラスターを発生することは絶対に避けたいと考えています。しかし何の活動もしなければクラブの存在自体が、存在意義が問われてしまうのではないのでしょうか。みんなで“今できる親睦と奉仕”に全力を傾けましょう。

一方でコロナが収束したとしても、以前のように戻らない部分もあると思います。オンラインによる例会参加やメーキャップなどはコロナ収束後も当たり前の選択肢となってくでしょう。新しい生活様式、新しい価値観にわれわれも合わせていく。つまりわたしたち自身も変化する必要があります。わたしたちにできる新しいロータリー活動を一緒に考えていきましょう。一年間ご協力よろしくをお願いいたします。「今できる親睦と奉仕を」全力でやろうという目標にしました。

もうすでに昨年度中から動き出している話をお伝えしたいと思います。

①**グローバル補助金の事業**：一番最初は3月の初旬に築館さん経由で基隆RCから連絡が来ていたものです。姉妹クラブの基隆RCがある基隆市内にある小学校、小学生に対して英語の教育を、英語能力をもっと高めるということを目標にした授業を行いたいという話がきました。日本と同じで読む、書くというのが中心の従来の指導方法にプラスして、聞く、話す能力を高めるためのマルチメディアの教科書の導入。そしてそれを使って教える側の小学校の先生に対するセミナー等を企画している。そういった内容のグローバル補助金授業です。

基本的にロータリーの重点分野の一つである「基本的教育と識字率の向上」を目標にしたものですが、いざわれわれの2830地区の財団委員に話をしたら、基本的な英語の教育をさらに高度にするのは“基本的教育”ではない、といったん却下された経緯があります。そこをまた築館ガバナーノミニージェグネートにいろいろと動いていただき、昨年度ガバナーや地区委員を説得して何とか5月末に申請することができました。

やっと一息ついていたら、6月頭にロータリー財団補助金担当部門からメールが届き、今年度分のグローバル補助金が過去にないほどたくさん申請されて、前年度比140%増で予算が足りないので一回差し戻しますと戻されてしまいました。再申請できるということだったので、基隆RCに問い合わせをしたら何とか再申請したいということで再申請しました。ただ、今年度中に予算がつくのか、減らされてつくのか、来年度になるのかはちょっとまだわからない状況です。そのつど順次対応していきたいと思っています。

②**地区補助金**：深澤さんは認知症に関する専門家ということで、その方面で何か八戸に貢献できる事業がないかということで、田向に新しくできた保健所などが入っている八戸市総合保健センターに「八戸市介護予防センター」があります。ここに介護予防、認知症

予防に効果があるといわれているニュースポーツ、お年寄りが楽しめるような輪投げ、パターゴルフのようなゲーム、ストラックアウトなどの道具を、今どこからか借りてたまにやっているようですが、それを介護予防センターに寄贈したい。また介護予防センターで行っている認知症や介護予防に対しての街頭活動、講演会などにお手伝いができるのではないかとということで、介護予防センターに対する地区補助金を申請している最中です。

③**ロータリー奉仕デー**：今年度RI会長のシェカールメータ会長が話をされていますが、ロータリーの活動を世界に紹介するためのイベントです。より大きなインパクトをもたらすため、ロータリーの重点分野に該当する地域社会の課題についてロータリー内外のボランティアが一緒に取り組む参加型奉仕活動。奉仕を通じて入会候補者をクラブに紹介する。2月23日のロータリーデーとはまた別物で、「ロータリー奉仕デー」、奉仕をするプロジェクトを立ち上げなさいということです。条件として、2つ以上のロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブによって計画されたものであること。ロータリーの重点分野に一致するものであること。イベントへの関心を高めるため少なくとも1つのメディア、Facebook、Twitter、地元紙などで周知を行うこと。参加者の少なくとも25%は現ロータリー会員ではないこと。

海岸美化プロジェクトは日本だけではなく、世界のさまざまなクラブが参加しますが、これを9月12日にやります。津軽では何クラブか参加を表明していますが、太平洋側はまだいないということで、八戸中心にどうですかという話がきていました。社会奉仕の委員長とも話をしまして、八戸クラブとして参加しようということで、9月12日(日)に海岸美化プロジェクトに参加したいと思います。詳細は未定ですが、決まり次第お伝えしたいと思います。

これから1年間皆さんと一緒に頑張りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

委員会活動計画発表 I

国際奉仕委員会 妻神和憲委員長

委員長は妻神和憲、副委員長は築館智大さん、委員は石橋敏文さん、山田慶次さん。国際奉仕委員会は小井田会長がテーマに掲げております「今できる親睦と奉仕を」を考え、まさに今できる国際奉仕活動を模索していく1年にしたいと考えています。従来ですと姉妹クラブの台湾基隆ロータリークラブとの交流を1年ごとにお互いのクラブを訪問しあうといった事業を、姉妹友好クラブ委員会と共に連携していきながら企画立案して、それを実行するのですが、新型コロナウイルス感染症の影響でその活動もいつ再開できるかわからないといった状況です。

今年度は現時点において、先ほど会長からお話がありました通り、基隆ロータリークラブよりR Iのグローバル補助金を利用した共同の奉仕活動を行わないかとの申し出を受けておりまして、それを何らかの形で双方のクラブで共同の奉仕活動が行われるように、姉妹友好クラブ委員会と協力、調整を図って進めてまいりたいと思っています。またロータリー財団ならびに米山委員会の寄付活動においても、従来通り両委員会と連携していき、会員の寄付に対する理解を深めていけるような活動を展開する1年にしたいと思っています。1年間どうぞよろしく願いいたします。

青少年奉仕委員会 石橋信雄委員長

委員長は石橋信雄、副委員長は鴨澤諭さん（ロータリーアクト委員長）、委員は夏堀礼二さん（インターアクトクラブ委員長）です。

青少年奉仕委員会は青少年活動育成発展の適格者であることを認識して、「今できる親睦と奉仕を」を土台に青少年活動を通じて地域社会に最良の奉仕を行えるよう行動いたします。本委員会を構成するロータリーアクト委員会ならびにインターアクト委員会の活動を補佐し、それぞれのロータリーアクトクラブ、インターアクトクラブがそれぞれ自立で

きるように支援していく1年に位置付けたいと思います。

現在のロータリーアクトクラブは会員が1名ということで非常に困難な状況になっていますが、こちらのほうを鴨澤委員長と一緒に会員拡大を進めていきたいと思っています。ぜひそういう方がいらっしゃればご情報をいただければと思います。また新型コロナウイルス感染症の影響でこちらの青少年奉仕活動はロータリーアクトもそうですが、特にインターアクトは活動ができていない状況です。こちらは状況を踏まえながら収まったら、夏堀委員長と共に工大二高の皆さんと活動できるように一年間邁進していきたいと思っています。どうぞ一年間よろしく願いします。

クラブ奉仕委員会 村井 達委員長

委員長は村井達、副委員長は中村稔彦さん、委員は夏川戸齊さん、菊地幹さん、広瀬知明さん、築館智大さん、赤澤栄治さん、紺野広さん、鶴飼寿栄さんです。皆さんはクラブ奉仕関係の各委員会の委員長です。後ほど皆さんから委員会活動計画を発表していただきます。

2021-22年度はwith Corona からafter Coronaへの突入の年度になるだろうと思います。この年度に関して会長方針をとらえて、「新たな親睦と奉仕の創造」をして参りたい。奉仕関係の各委員会の活動が可能になるように下支えをしていく委員会にしたいと思っています。そのための土台を強く、高く支えていきたいと、このような計画です。

ロータリークラブは奉仕をする個々の人が入っているクラブですので、われわれ八戸クラブの会員一人一人が新たな時代で何ができるか、新たな親睦と奉仕を創造していくということで皆さんにお声がけをさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

出席委員会 中村稔彦委員長

委員長は中村稔彦、副委員長は松本剛典さん、委員は寺下一之さん、野村一雄さん、高

谷勝義さん、夏堀礼二さん、山村和芳さん、久保浩視さん、川村幸雄さん、山本仁さん、廣田茂さん、菊地幹さんの12名です。

委員会の方針は基本的には会長方針です。ご存じの通り例会の出席はロータリーの活動の原点であると共に、会員同士の親睦を深める絶好の機会であるということで、当委員会としましては、会員の皆さまが例会や大会等の各行事に出席することを奨励し、出席率向上を目指していきたくと思っています。

会長からありました通り、①会員の年間出席率は90%以上を目指す。②引き続き出席予定につきましては事前に報告をいただくこととしています。会長からの指示で食事の無駄をなくしたい、省くために出欠管理を徹底して参りたいと思います。③例会の欠席の場合は他クラブへのメークアップ、地区大会、合同例会等の出席も奨励したいと思います。④オンライン出席も引き続き行います。メークアップ、オンライン出席で出席率を高めていただければと思います。一年間よろしくお願ひします。

親睦会場委員会 夏川戸 齊委員長

委員長は夏川戸齊、副委員長は岡崎孝文さん、委員は13名、総勢15人の大所帯です。この中にはパソコンをやっているICT委員の方も含まれています。

通常例会については今まで通り、コロナ対策をとった形で進めていきます。特別例

会があった場合は楽しい例会ができるように企画をいろいろ考えます。今もリモートで参加いただいている方もいますが、会場に参加できない方はできるだけリモートで参加していただくように、またそれができない方についてはこちらのほうでサポートしたいと考えています。サポートメンバーは固定されていますが、代わる代わるやりながら誰でもサポートできるような形で委員会を構成していきたくと思っています。一年間よろしくお願ひします。

会報広報委員会 菊地 幹委員長

委員長は菊地幹、副委員長は峯正一さん、委員は奈良全洋さん、村舘珠樹さんです。

ご存じの通り、会報は前任の広瀬知明さんが写真を多く、見やすい、たいへん素晴らしい会報のスタイルをしっかりと築いていただきましたので、見やすい会報づくり、写真がたくさん載るような会報づくりを継承していければと思っています。

SNSの活用も検討していきたくと思っていますが、わたし自身明快なアイデアがないので、そういったあたりを委員の中でも話し合っていますし、皆さんからこういうアイデアがどうだというようなお知恵もありましたらお声がけいただきたいと思っています。不慣れなことでご迷惑をかけるかもしれませんが、精一杯がんばりますのでよろしくお願ひいたします。

出 席 報 告						出席委員会	
第3194回例会（7月7日）				第3192回例会（6月23日）			
出席率		100%		出席率		59.3%	
総会員数		61名		総会員数		61名	
出席義務会員名		出席免除会員名		出席義務会員		出席免除会員	
		欠席数		59名		2名	
		0名		欠席数		24名	